

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

第178期定時株主総会

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

決算手続の進捗状況

決算作業の状況

- 本日時点において2016年度の財務数値に関し、ウェスチングハウス社グループに係る部分を除き、独立監査人による数字の検証は完了しています。
- ウェスチングハウス社グループが再生手続を申し立てたことに伴い、同グループの決算・監査手続は7月末まで時間を要する予定です。そのため、同グループに係る損失の計上時期等を含め、独立監査人による監査手続は継続中です。
- 6月23日公表の通り、有価証券報告書の延長期限である8月10日までに決算・監査手続を完了させ、後日開催予定の臨時株主総会において、改めてご報告をさせていただく予定です。

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2016年度業績の見通し

2016年度連結業績の見通し

ポイント

単位：億円

	15年度 実績	16年度 業績見通し	差
売上高	51,548	48,708	▲2,840
営業損益	▲4,830	2,708	7,538
税引前損益	▲3,994	2,244	6,238
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	▲6,458	1,201	7,659
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	1,298	▲13,065	▲14,363
当期純損益	▲4,600	▲9,952	▲5,352

- HDD増収
- 円高影響で減収
- メモリ増益
- 構造改革で改善
- 2015年度はコネ社
株式等売却益含む

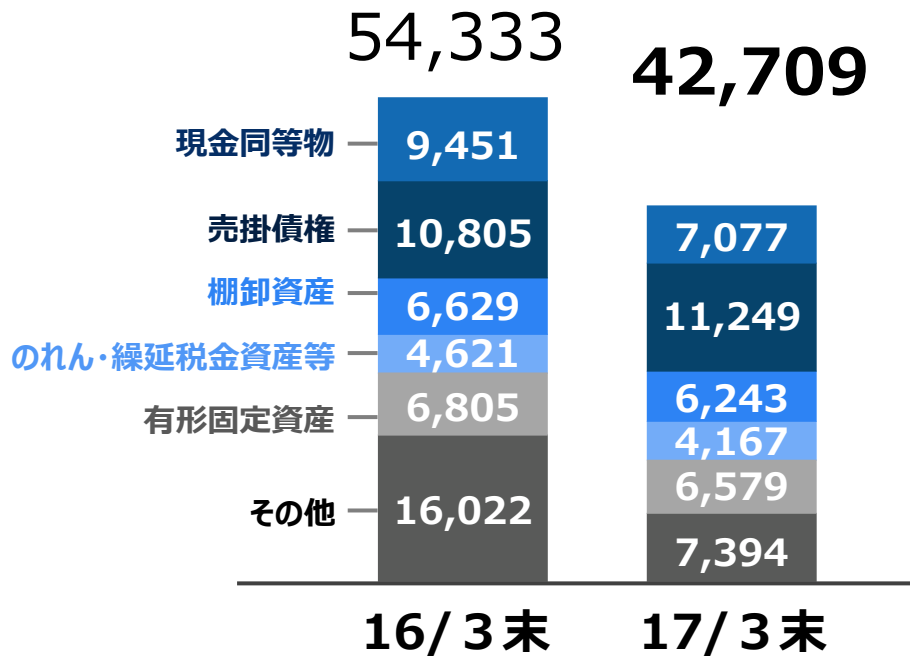
- ウェスティングハウス社のチャ
プター11申立て等の損失

	16/3末 実績	17/3末 見通し	差
株主資本	3,289	▲5,816	▲9,105
純資産	6,723	▲3,039	▲9,762
Net有利子負債	4,964	4,961	▲3

連結貸借対照表

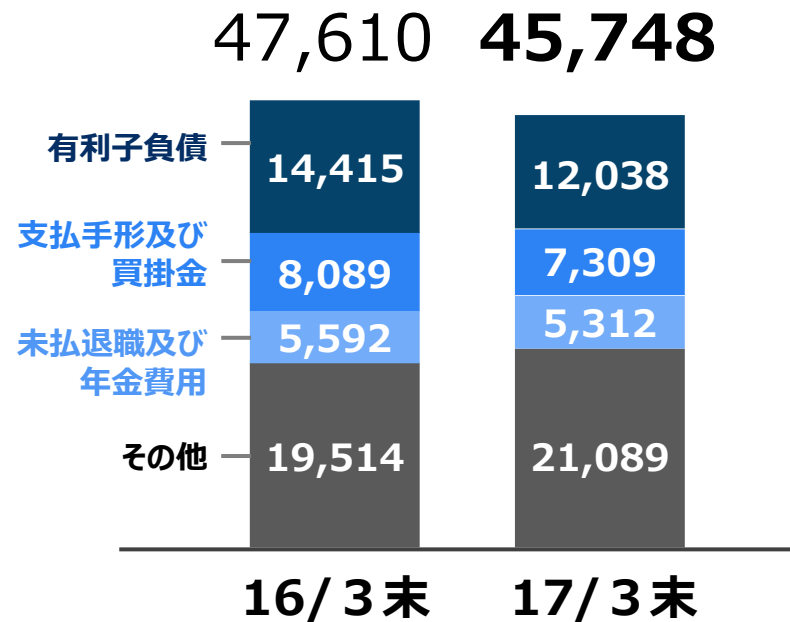
ウェスチングハウス社グループの連結除外により資産減少

■ 資産



■ 負債

単位：億円



TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2017年度業績の見通し

2017年度の見通し

※メモリ事業への外部資本導入影響および
ランディス・ギア社についての戦略的選択肢 反映前

	16年度 業績見通し	17年度 業績見通し	差
売上高	48,708	47,000	▲1,708
営業損益	2,708	2,000	▲708
税引前損益	2,244	1,100	▲1,144
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	1,201	700	▲501
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	▲13,065	0	13,065
当期純損益	▲9,952	500	10,452

ポイント

単位：億円

- ・円高影響で減収
- ・インフラ減収
- ・為替影響で減益
- ・インフラ減益

	17/3末 見通し	18/3末 見通し	差
株主資本	▲5,816	▲5,800	16
純資産	▲3,039	▲2,800	239
Net有利子負債	4,961	11,800	6,839

メモリ事業への
外部資本導入
により債務超過
を解消予定

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの12ヶ月累計です。
- ウェスチングハウス社グループ、ヘルスケア事業及び家庭電器事業に係る経営成績は、米国会計基準に基づき非継続事業として取り扱われるため、注記が無い限り、売上高、営業損益、税引前損益には含まれておらず、過年度の数値を組み替えて表示しています。

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

ウェスチングハウス社グループ及び 米国AP1000案件に係る 当社親会社保証の状況

チャプター11申請

2017年
3月29日
(現地時間)

- ウェスチングハウス社（米国関係会社を含む）
- 東芝原子力エネルギーホールディングス英国社(ウェスチングハウス社の米国外の事業会社群の持株会社)は、米国連邦倒産法第11章に基づく再生手続(チャプター11)を、ニューヨーク州連邦破産裁判所に申し立てました。

***チャプター11：事業を継続しながら事業再生をはかるための再建手続。裁判所の監督の下で会社経営陣がそのまま残り経営を行い、再建策を策定する。**

本申立てにより、ウェスチングハウス社グループを、2016年度通期決算から当社の連結対象から除外。

再生手続申立て以降の経緯

- ウェスチングハウス社グループは連邦倒産法の保護の下、再生計画を策定中。また、再生手続中の事業継続のために、8億米ドルに上る第三者からのファイナンスを確保し、裁判所の承認を取得済み。
- 米国における同社の新型原子炉「AP1000」2サイト、4基の建設プロジェクトについては、当面の間客先（電力会社）が建設コストを負担することに暫定合意し、作業を継続。
- これと並行して当社は、各電力会社との間で、当社がAP1000建設プロジェクトに関して提供していた親会社保証の履行について協議を継続。

親会社保証の履行に関する協議状況

- **米国ジョージア州ボーグル発電所3号機、4号機：**

顧客であるサザン電力と米国時間6月9日に、36億8000万米ドル（4,129億円）を本年10月から2021年1月までの間に分割にて支払うことにより履行する合意書を締結。上記金額を超える費用負担リスクを遮断。また、再生手続から得られる配当を当該支払上限額に充当することにも合意。

- **米国サウスカロライナ州VCサマー発電所2号機、3号機：**

顧客であるスキャナ電力と親会社保証の履行内容について交渉を継続中。保証上限額の確定と、それ以上の費用負担の遮断を目指す。保証上限額については、現在の交渉状況を踏まえ最善と思われる見積もりを財務数値に反映。

今後の見通し

- ウェスチングハウス社グループの再生手続は、現在、破産裁判所の監督のもと、債権者委員会をはじめとする関係各社との協議が進行中。同社グループの現行事業は従来通り運営される。
- 再生計画はウェスチングハウス社にて策定中であり、現時点で公表されていないが、今後、当社は再生手続の進展を注視し、同社の債権者に適切な配当がなされるよう、監視を継続。
- 当社業績への影響を含め、開示すべき事由が発生した際には速やかに開示いたします。

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

メモリ事業の売却状況

1. 売却の経緯

メモリ事業の分社及び外部資本導入の検討

2017年

1月27日 **メモリ事業分社化方針公表**

2月14日 **メモリ新会社株式の過半超の譲渡を含む
外部資本導入検討を公表**

3月31日 **臨時株主総会においてメモリ事業の
分社化を承認**

4月 1日 **メモリ新会社の吸収分割の効力発生**

2. 優先交渉先の決定

TMC売却に係る優先交渉先の決定(6/21)

各買い手候補者からのご提案のうち、以下を総合的に評価した結果、(株)産業革新機構、ベインキャピタル、(株)日本政策投資銀行からなるコンソーシアムのご提案が最も優位性が高いと評価

- TMCの企業価値
- 国外への技術流出懸念
- 国内の雇用の確保
- 手続の確実性等

3. 現在の状況

早急な締結を実現すべく鋭意交渉中

- 最終合意の締結
- 独占禁止法審査完了・クロージング（2018年3月末迄）

なお、米国ウエスタンデジタル社が子会社の米国サンディスク社等を通じて行っている仲裁申立や訴訟提起は、不当にTMCの売却を妨害しているものです。コンソーシアムにも、この点理解いただいております。

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝のこれからの姿

東芝グループ[®]経営方針と注力領域

人々の暮らしと社会を支える社会インフラを核とした事業領域に注力
確かな技術で、豊かな価値を創造し、持続可能な社会に貢献



リテール&
プリンティング



ビル・施設



鉄道・
産業システム



公共インフラ



電力流通



発電

社会インフラ

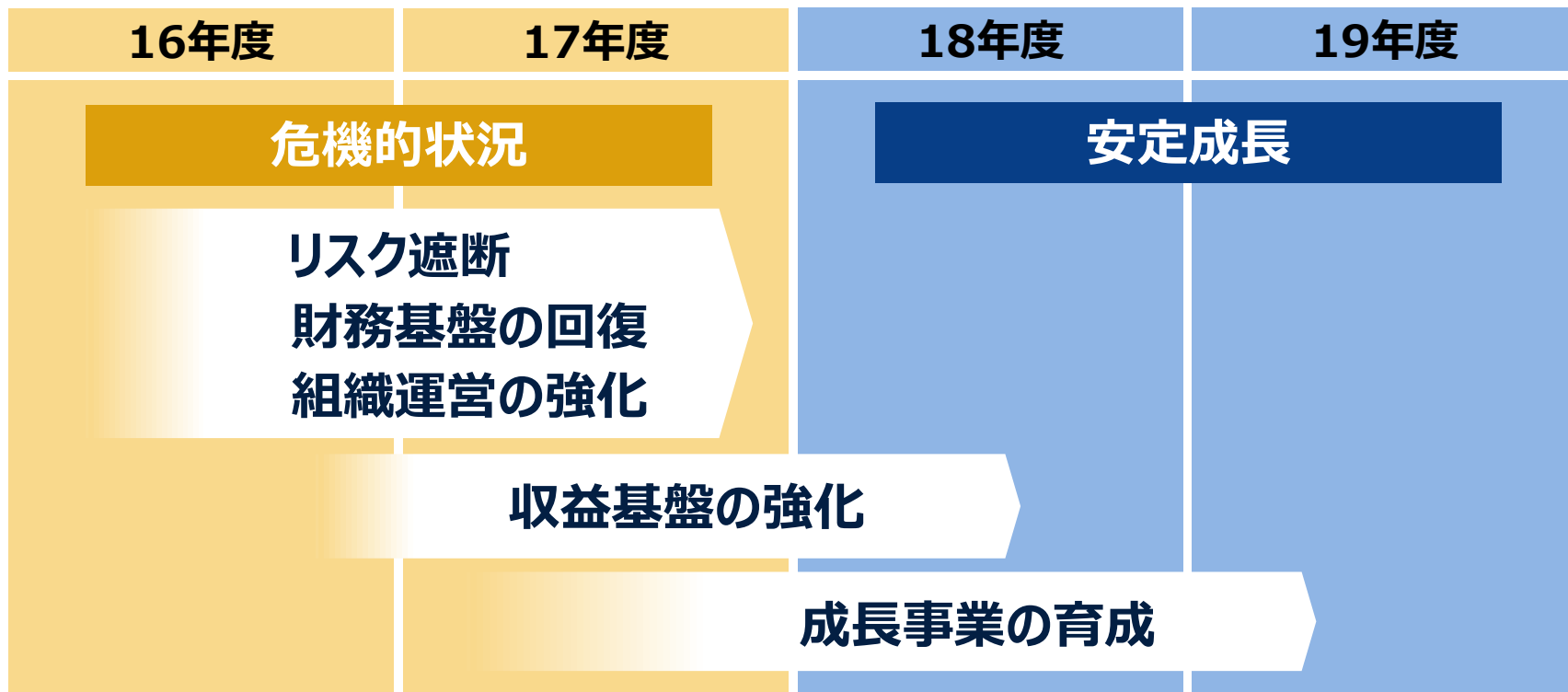
エネルギー

電子デバイス

デジタルソリューション

東芝再生へのロードマップ^o

危機的状況から、安定成長へ



組織運営の強化

グループの企業価値最大化に向けて、役割と責任を明確化

- ・カンパニーは事業価値最大化に特化
- ・本社機能は東芝グループ企業価値最大化と経営管理強化に特化
- ・東芝グループとしての内部管理体制は継続して強化

新たな事業体制がスタートします。

分社体制への移行

原則カンパニー単位で段階的に分社化

株式会社東芝

戦略・統制

東芝
エネルギー
システムズ
株式会社

10月1日

東芝
インフラ
システムズ
株式会社

7月1日

東芝
テック
株式会社

東芝
デバイス&
ストレージ
株式会社

7月1日

東芝
メモリ
株式会社

4月1日

東芝
デジタル
ソリューションズ
株式会社

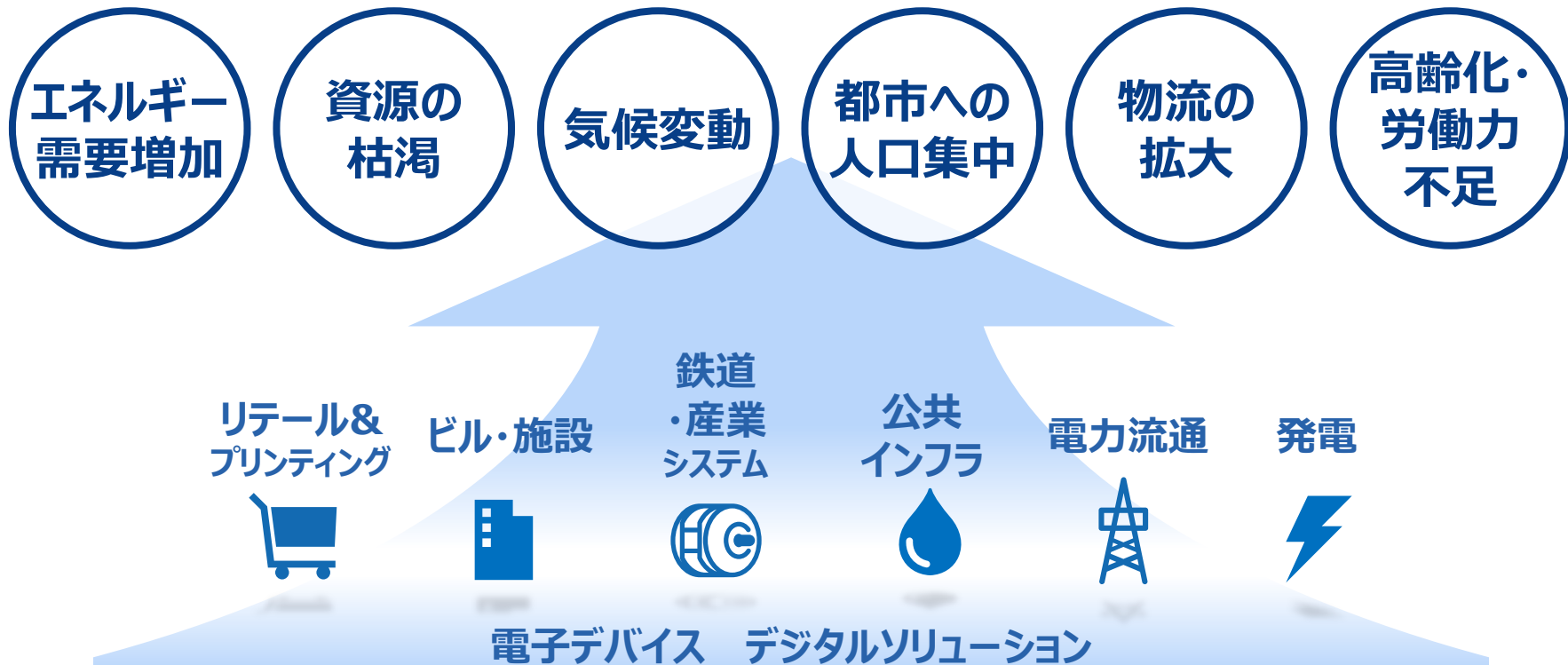
7月1日

研究開発

共通基盤

社会課題と注力事業領域

社会インフラを核とした事業領域が拡大する社会課題を解決



社会課題と注力事業領域

エネルギーを創り、貯めて、使う、すべてのプロセスを最適化

エネルギー
需要増加

資源の
枯渇

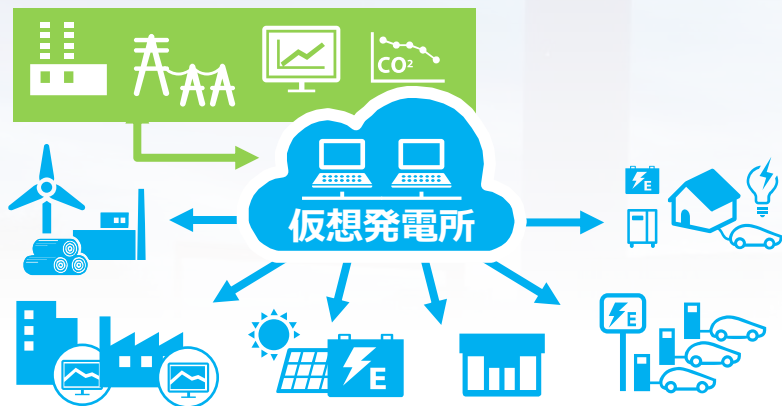
気候変動



社会課題と注力事業領域

エネルギーを創り、貯めて、使う、すべてのプロセスを最適化

仮想発電事業を開始



JR東日本様向け「H2One™」運転開始



社会課題と注力事業領域

複合的な都市の課題を、相互に繋がる機器の最適運用で解決

都市への
人口集中

物流の
拡大

高齢化・
労働力
不足



空調

(ユニバーサルスマートX)



昇降機

(SPACEL-GR II)



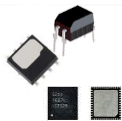
鉄道システム

(車両用主回路システム)



電池

(SCiB)



半導体
/LSI



POS
/MFP



HDD



自動
荷下し機



水処理

東芝IoTアーキテクチャー
SPINEX™
東芝コミュニケーションAI
RECAIUS™

IoT
/AI

社会課題と注力事業領域

複合的な都市の課題を、相互に繋がる機器の最適運用で解決

スズキ様・デンソー様・東芝、
インドで合弁会社※設立



※ 自動車用リチウムイオン電池パック製造合弁会社

デンソー様と東芝、IoT活用で協業



空調

(ユニバーサルスマートX)



昇降機

(SPACEL-GR II)



鉄道システム

(車両用主回路システム)



電池

(SCiB)



半導体
/LSI



POS
/MFP



HDD



自動
荷下し機



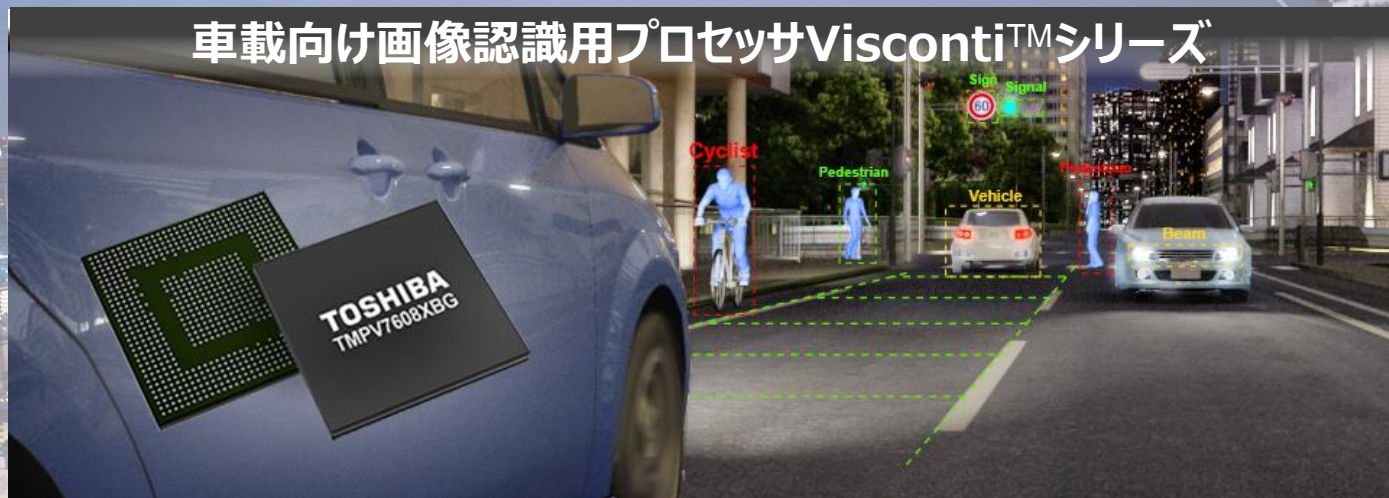
水処理

東芝IoTアーキテクチャー
SPINEX™
東芝コミュニケーションAI
RECAIUS™

IoT
/AI

社会課題と注力事業領域

複合的な都市の課題を、相互に繋がる機器の最適運用で解決



空調

(ユニバーサルスマートX)



昇降機

(SPACEL-GRII)



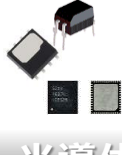
鉄道システム

(車両用主回路システム)



電池

(SCiB)



半導体
/LSI



POS
/MFP



HDD



自動
荷下し機

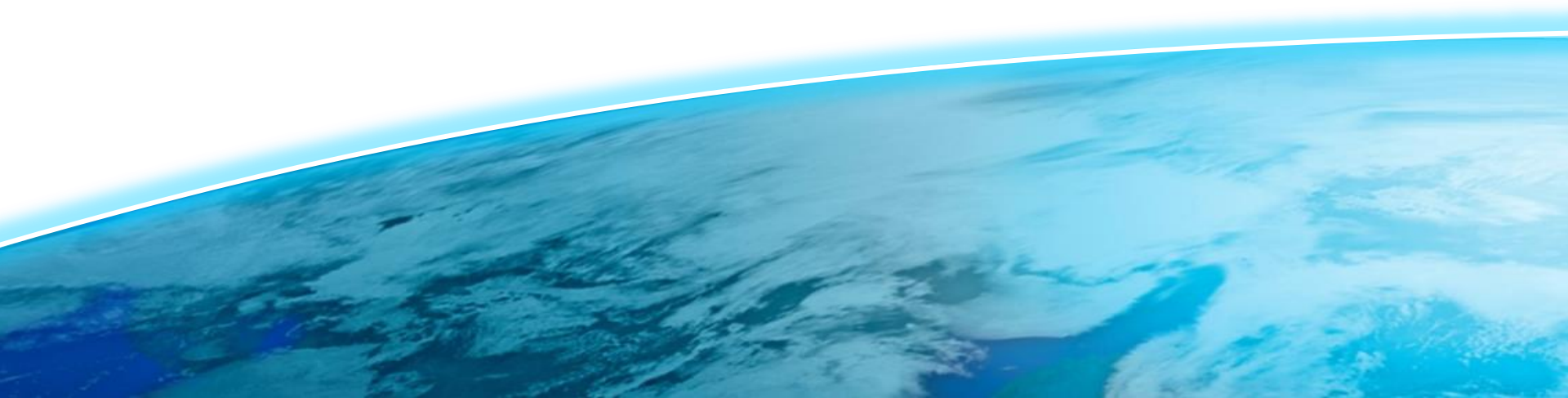


水処理

東芝IoTアーキテクチャー
SPINEX™
東芝コミュニケーションAI
RECAIUS™

IoT
/AI

人と、地球の、明日のために。



TOSHIBA

Leading Innovation >>>

第178期定時株主総会

< 決議事項 >

第1号議案

取締役9名選任の件

招集ご通知6ページ以下をご覧ください

< 決議事項 >

第2号議案

吸収分割契約承認の件

招集ご通知12ページ以下をご覧ください

第178期 定時株主総会 第2号議案ご説明資料

議案： 吸収分割契約承認の件

- 目的： 1. 当社グループ内の連携を強化しつつ、自立した事業体として、新規事業展開を含めて事業価値最大化を図るとともに、特定建設業等の許認可維持による事業継続性も踏まえた最適な体制を確立する。
2. 事業環境の変化に応じた機動的かつ迅速な経営判断体制を構築し、ガバナンス体制の強化を図る。
3. 次世代エネルギー市場での顧客の価値を向上させる製品・システム・サービスの提供を通じてエネルギー事業を更に成長させ、当社グループの企業価値の最大化を図る。



※1：ランディス・ギア統括部及び電力・社会システム技術開発センターが営む事業を除く。

※2：WEC監督部が営む事業を除く。

承継内容

東芝グループ						
セグメント	エネルギーシステムソリューション	インフラシステムソリューション	リテール&プリンティングソリューション	ストレージ&デバイスソリューション	インダストリアルICTソリューション	その他
主な事業内容	原子力発電システム、水力・火力発電システム送变电・配電システム	公共インフラ、ビル・施設、産業システム	リテールソリューション、プリンティング事業	メモリ、HDD、ディスクリート、システムLSI	システムインテグレーション事業	パソコン、映像
16年度連結売上見通し(億円)	約9,800	約12,600	約5,100	約17,000	約2,400	約5,300

※数値は独立監査人による監査手続中であり、修正される可能性がある。
 ※セグメント別の売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む。

分割事業	エネルギーシステムソリューション社及び原子力事業統括部		資産		負債	
	事業内容	エネルギー事業関連の製品・システム・サービスの開発・製造・販売	項目	帳簿価格(億円)	項目	帳簿価格(億円)
	16年度連結売上見通し(億円)	9,800	流動資産	4,918	流動負債	4,698
	16年度連結営業見通し(億円)	△360	固定資産	1,339	固定負債	559
		合計	6,257	合計	5,257	

※契約締結日(2017年5月31日)時点で算出した、2017年9月末の見込み額。

東芝エネルギーシステムズ株式会社(10月1日以降)			
代表者	現時点では確定していません。	発行済株式数	10,000,000株
事業内容	エネルギー事業関連の製品・システム・サービスの開発・製造・販売	所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34
資本金	100億円	決算期	3月31日

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

第178期定時株主総会